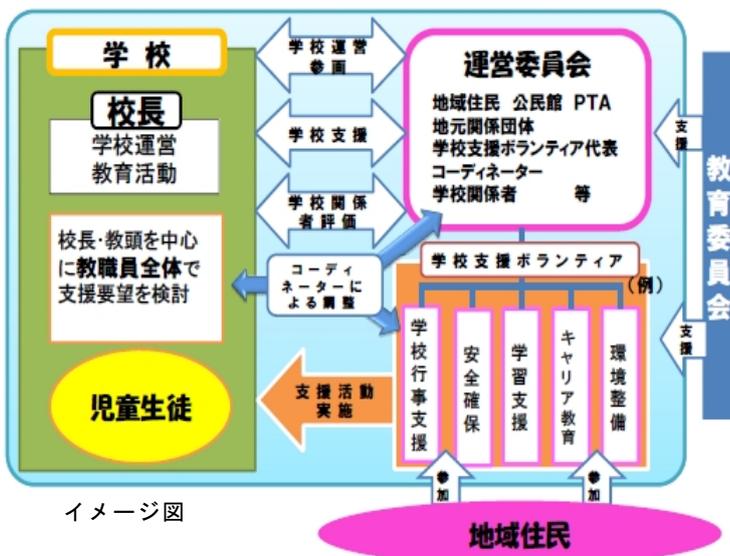




長野県では、これまで築き上げてきた学校と地域が連携して子どもを育てる取組を土台にして、新たに地域住民が①学校運営参画②学校支援③学校評価を一体的・持続的に実施していく仕組みを「信州型コミュニティスクール」(信州型CS)として整え、学校と地域住民の協働による地域に開かれた信頼される学校づくりを進めます。

## 信州型コミュニティスクールとは・・・

信州型CSとは、地域住民の皆さんに、日常的に学校に来ていただき、子どもたちのことを支援していただいたり、子どもの教育や学校運営について話し合うなど、学校と地域が「こんな子どもを育てたい」という願いを共有しながら、一体となって子どもを育てる持続可能な仕組みを持った地域と共にある学校です。そのために下図のような仕組みを整え、学校と地域の協働を推進します。



イメージ図

### ■運営委員会とは？

地域住民と学校が児童生徒の将来あるべき姿について「熟議」等による話し合いをする場です。3つの機能があります。

- |       |                                |
|-------|--------------------------------|
| 3つの機能 | ①学校運営への参画<br>②学校支援<br>③学校関係者評価 |
|-------|--------------------------------|
- (→P2)

### ■信州型CSの特色は？

- 3つの機能を一体的に果たすことで、相乗効果が生まれます。
- 既存の組織(→P3)を生かした仕組みづくりが可能で、地域の特色を生かした実践ができます。

## 今、なぜ地域との連携なのでしょう

### ■社会情勢の中ですます高まる必要性

変動の激しい社会の中で地域との連携(開かれた学校づくり)の必要性が以下の視点から高まっています。

- 社会が複雑化し多様なニーズを抱える学校教育の質的・量的な充実を図るために
- 社会的自立につながる体験・交流や、郷土への愛着を育む地域学習を進めるために
- ☆地域住民の生きがいや学びの場づくりのために
- ☆過疎化や高齢化、絆の低下の中で、学校を核とした地域の活性化や地域の教育力の向上のために

### ■県内の状況と課題

県内では、伝統的にどの学校も地域に根ざし、地域住民に支えられた教育活動が展開されていますが、

- 教員各自で地域講師を見つけて活動を行う場合、その教員の異動とともに活動が終わってしまったり、長続きしなかったりする。
- イベント的な行事になると、学校・地域双方に有用感が感じられない場合が多い。
- 学校の取組がなかなか地域に伝わってこない。などの声や課題があるようです。

<信州の伝統>  
 ○学校を大切にする風土  
 ○地域に根ざした教育

さらに  
 推進

<信州型CS>  
 仕組みとその運用による持続的な協働

## 運営委員会の役割

### ■学校運営のPDCAにかかわる3つの機能

#### ①学校運営への参画

めざす子ども像や学校の重点目標、学校が抱える課題等学校運営について話し合う場（熟議等）を持ちます。

そこで出された意見を、学校は有効なアドバイスとして積極的に学校運営に生かします。



#### ②学校支援

従来から行われている学校支援ボランティアを組織化し、学校支援ボランティアの方向付けをしたり、年間計画の作成、調整等を行ったりします。



### ■①～③を一体的に機能させることで

3つの機能は、これまでそれぞれ行われてきましたが、信州型CSでは、一体的に行うことで相乗効果が生まれます。

**話し合い**  
(学校・地域)



学校…学校支援ボランティアを通じて学校や子どもたちのことを理解していただいている方からの有効なアドバイスがいただけます。

また、学校の重点や課題を共有していただいたり、解決策を一緒に考えてもらったりできます。

地域…話し合いで共有したこと、意見として出したことを、自らの支援活動にも反映させ取り組んでいただけます。

#### ③学校関係者評価

学校が行う自己評価のうち、地域との連携に関わる項目などについて学校関係者評価をしてもらい、学校運営に反映させます。

### ■運営委員会の構成

学校支援ボランティア代表を中心に、保護者や地域の代表、子どもの育成に関わる方々等にいただきます。既存の組織を活用(→P3)しながら、理解をいただけた方から徐々に加わっていただき、構成を広げていくことも考えられます。

- (例) ○学校支援ボランティアの代表  
 ○PTA関係者      ○公民館関係者  
 ○子どもの育成に関わる方(育成会、民生委員等)  
 ○地域の代表(自治会、商工会等)  
 ○社会福祉協議会  
 ○コーディネーター    ○校長等教職員 等

## コーディネーターの設置

### ■コーディネーターの役割とは

学校と地域の連携の要となり、運営委員会を支える重要な役割を果たすのが、コーディネーターです。

主に次のような役割があります。

- ①学校の支援要望把握と地域との連絡・調整
- ②学校支援ボランティアの発掘・組織化
- ③学校と地域の連携で子どもを育てることについての地域住民への広報・啓発

このほかにも、ニーズの掘り起こしやプログラムの開発、活動のルールづくり、安全配慮、活動後のフォローアップ等も大切な役割です。

### ■コーディネーターは誰が・・・

学校と地域の両方に精通している地域の方が適任です。

県内では、市町村教育委員会に専任のコーディネーターがおかれている場合や、専任ではなくとも、公民館長や主事、PTA役員(OB)、あるいは教員が担っている場合もあります。

専任のコーディネーターがいない場合は、運営委員や教員の間で役割を分担し、複数で担うことで、できる限り負担が集中しないようにすることも大切です。



## 信州型コミュニティスクールを進めるには

### ■持続可能な仕組みづくりに向けて（例）

#### ①学校支援ボランティアの積極的活用

普段から学校支援ボランティアを積極的に受け入れましょう。 ↓

#### ②学校支援ボランティアの組織化

継続的に活動している学校支援ボランティアの皆さんを組織化します。支援内容ごと代表の方も決めてもらいましょう。 ↓

#### ③代表者会の開催

代表の方に集まってもらい、ボランティア活動を通じて感じていることや子どもの様子について話し合う場をつくりまします。無理せず参加いただける方から始めます。 ↓

#### ④運営委員会の発足

③の代表者会の中で、「運営委員会」の趣旨を伝え理解を得た上で「運営委員会」を発足します。子どもの育成に関わる方や地域の団体の代表の方にも、会にも加わってもらえるよう働きかけます。

3つの機能については、3つ同時でなくても、できるところから始めます。 ↓

#### ⑤充 実（委員と機能）

ボランティアの団体や地域の代表などにさらに働きかけ、委員構成を徐々に広げます。

また、機能についても、準備を進めながら一体的にできるよう徐々に広げていきます。

専任のコーディネーターがいない場合は、委員の中で無理のない範囲で、支援の内容に応じて役割分担ができるようにしましょう。

※市町村教育委員会と協議し、設置要綱を定めることで、委員の役割や活動内容をより明確にすることもできます。

学校には地域の方が関わって学校を支えてくださっている様々な組織があります。運営委員会を、信州型CSとして新たに立ち上げるやり方ももちろんありますが、これまで学校を支えてきてくれた様々な組織をベースにして、徐々に委員構成や機能を広げて、整えていくことも考えられます。地域の特性を大事にして進めましょう。

### 「読み聞かせボランティア」を核にして

不定期にその都度学校から依頼をして行っていた朝読書の読み聞かせ。連絡・調整等がなかなか大変でした。そこで、「読み聞かせボランティアを組織できないか。」と考え、①“手続きを簡単に” ②“定期的・継続的に” ③“来られる方が来られるときに”の3視点を大切に、地域の皆さんに呼びかけて、「朝の読み聞かせボランティア」の活動を組織しました。公民館の読書講座を受講している皆さんにも声をかけながら、徐々に広がりを見せていきました。

毎週火曜日の朝読書の時間、村の図書館司書さんが調整役となり、読み聞かせボランティアの方の自己申告を基に、読み聞かせに入るクラスが割り振られます。「来られる方が来られる時に」なので、10数人の時もあれば2～3人の時もあります。ボランティアが入らないクラスは、クラスごとの読書をしています。子どもたちも楽しみにし、また、ボランティアの方も生き甲斐・やり甲斐を感じてくださっています。学校もボランティアの方も、お互いに負担にならないことも大切です。



「読み聞かせボランティア」による無理のない活動を核として、現在では、「クラブ活動支援部」「学習支援部」「安全・安心支援部」が加わり、学校支援ボランティアの活動が行われています。

（山形村立山形小学校長 市瀬 徹）

#### <山形小学校の取組から>

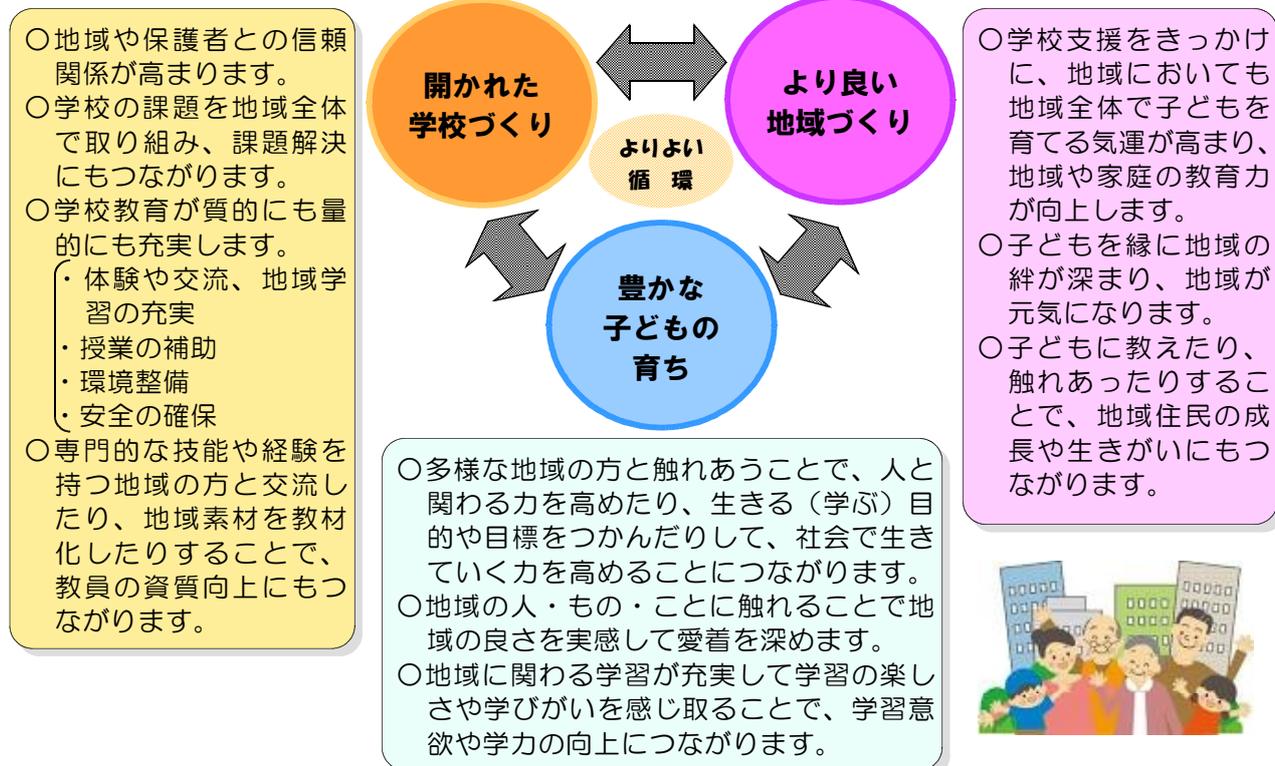
- 1 できるところから
  - 全てに取り組みなくては…と考えずに、自校で取り組みやすいところから始めています。
- 2 互恵の関係
  - 学校もボランティアも負担がなるべくかからないように進めています。
  - 学校もボランティアもお互いにプラスになる発想を大切に進めています。
- 3 地域の方々の経験や学びを生かす
  - 学校や子どもたちの支援になることはもちろんですが、地域のボランティアの皆さんも自分の経験や学びを生かす場になるということも考えながら進めています。

#### <既存の組織の例>

学校支援地域本部 放課後子ども教室実行委員会  
キャリア教育プラットホーム 学校評議員会  
住民自治組織 PTA 等

## 信州型コミュニティスクールでどのように変わるのでしょ

信州型CSを整え、学校と地域住民の協働による地域とともにある学校を実現することで、以下のことがこれまで以上に充実します。



### ■地域と一体となって課題解決に取り組む

先行して実践している学校では、仕組みを通じて地域と願いや課題を共有し取り組んだことにより、様々な成果が見られます。

- ・「生徒指導の事案が減り、授業に専念できるようになった。」
- ・「地域の中で子どもたちが挨拶をするようになった。」
- ・「地域住民からの苦情の電話が減り、協力的になった。」
- ・「教室に入れず保健室で過ごしていた生徒が減った。」

信州型CSの仕組み自体は、目的ではなく課題解決の手段となるものです。どんな目的を持たせるかは、各学校によりますが、地域の皆さんと取り組むことで、様々な成果を生み出すことができます。

### 地域住民・保護者の理解を深めながら

仕組みをつくりそれを活用していくには、教職員はもちろん、地域住民や保護者等学校や子どもの教育に関わる様々な立場の方の理解と協力が必要になります。仕組みづくりと平行して、説明会や研修会を開くなどして、理解を広げていくことが大切です。

県教育委員会も、教職員やコーディネーター、ボランティアを対象とした研修会を今後実施していきますので、ぜひ活用してください。

### ■お問い合わせ先

長野県教育委員会事務局文化財・生涯学習課 Tel.026-235-7437 e-mail:bunsho@pref.nagano.lg.jp  
東信教育事務所生涯学習課 Tel.0267-31-0252 南信教育事務所生涯学習課 Tel.0265-76-6861  
南信教育事務所飯田事務所 Tel.0265-53-0460 中信教育事務所生涯学習課 Tel.0263-40-1977  
北信教育事務所生涯学習課 Tel.026-234-9552 長野県生涯学習推進センター Tel.0263-53-8822

※この資料は、下記URLよりダウンロードできますので、ご活用ください。

<http://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/bunsho/cs.html>